



座談会

工事広報 コンシェルジュ × 工事広報 担当者

in 東京

NEXCO中日本は、2025年10月1日に会社創立20周年を迎えます。

会社の顔としてお客さまへ工事のお知らせなどを伝える役割を担う工事広報コンシェルジュの浜崎香帆さんと、広報活動を担当している各支社の工事広報担当者による座談会を、6月23日に東京支社のNEXCO BASEで開催しました。

普段はなかなか聞くことのできない広報活動の裏側や、工事にかける想い、皆さんがイメージする高速道路などについて対談しました。



工事広報コンシェルジュ
はま さき か ほ
浜崎香帆さん

所属: キューブ
出身地: 福岡県
趣味: YouTube動画を見る、散歩



駒場勝美 担当課長

八王子支社 総務企画部 広報・CS課
兼 環境・技術課※当時

高速道路
のおすすめ
スポット 東富士五湖道路。富士
山の真横を通っている
ところが好きです。



赤松佳子 係長

東京支社 保全・サービス事業部
企画統括課

高速道路
のおすすめ
スポット 西湘バイパス。海沿い
を走る爽快感抜群のド
ライフルートです。



金山隼人 係長

NEXCO中日本 保全企画本部
保全課

高速道路
のおすすめ
スポット 富士川ISA周辺。東名か
ら見る富士山が非常に
きれいです。

1 高速道路でおこなわれている 工事について教えてください (工事の種類、件数など)。

赤松 東京支社では、今年度はリニューアル工事や集中工事などの大規模な規制を伴う工事を9件予定しています。通常期は、舗装工事や防護柵工事、施設工事、維持修繕工事、橋梁工事、点検など、多岐にわたり実施しています。

駒場 八王子支社では、大規模な規制を伴う工事が毎年約15件あります。それ以上おこなうと、日々どこかで大きな渋滞が発生してしまうので、東京エリアで工事を実施している時は、八王子エリアでは控えるなど、調整しています。

金山 本社は全支社の工事を把握し、工事に関する支社間の調整などをおこなっています。

駒場 私が入社した時は、阪神・淡路大震災が起きた直後で、耐震補強工事がすごく多かったのを覚えています。また、高速道路上でも日々あちこちで様々な規制がおこなわれ、渋滞も多く発生していました。その後、工事規制を減らすために必要な工事を短期間にまとめて実施する「集中工事」が各地で開始され、さらには床版取替えなど、長期間にわたる対面通行規制、車線規制、通行止めにより実施するリニューアル工事も始まったので、当時の工事形態とはだいぶ変わっています。当時はポスターやリーフレットを作った印象があまりなく、工事CMもなかったと思います。

赤松 実は6月初旬に、小田原厚木道路のリニューアル工事の現場へ、現場見学と撮影も兼ねて浜崎さんと



行ってきました。間近で見る工事の規模と迫力に、浜崎さんがとても驚かれていたのが印象的でした。浜崎さんがレポートしてくれた床版の取替えと撤去の様子を、WEBサイトに公開しますので、ぜひご覧ください。



(WEBサイトのQRコード)

浜崎 現場見学は、いつも通っている高速道路に自分の足で立っていることが、本当に新鮮でした。工事現場に入る機会はめったにないので、本当に良い経験でした。普段何気なく通っている高速道路の裏側では、綿密な計画を立てて、すごい技術を使って工事されていることに感動というか、感銘を受けました。作業員さんの安全確保はもちろん、高速道路の周辺住民の方、渋滞や事故など交通への影響を最小限に抑えていることが分かり、すごく印象に残っています。こうやって工事をしていただいているから、私たちが安全に、スムーズに利用することができるんだと、あらためて実感しました。

資料で見るのと、実物を見るのとはやはり違いますし、資料には載っていない器具機器や施設など、細部まで肉眼で見ることができました。ぜひまた行きたいです。

赤松 CMにご出演いただいているので、どんな工事なのかを知っていただきたくて、現場見学の機会を設けました。原稿通りに伝えるのと実際に見て知ってから伝えるのでは、伝わる印象が全然違いますよね。

浜崎 「いっぱい工事をやっているんだ」というのはもちろんなのですが、それをマイナスに捉えられないようにドライバーの皆さんに伝えていきたいとあらためて思いました。やはり私が最大限に協力できることは、「言葉で伝えること」なので、声色や表情のニュアンスを一番意識しています。「ご注意ください」の一言でも、焦った感じ、暗い感じ、お願いしすぎ、軽くてもダメなので、そのちょうどいいところを伝えるのが本当に難しかったです。そして何よりも、CMはタイム(R)が決め



られているので、15秒、30秒の中で確かな情報、聞き取りやすい言葉をどのようにはめるかが一番難しかったです。大事な情報を私の滑舌の悪さで削ることのないように、責任を持って毎回撮影しています。

2 「高速道路の保全」に対して 担当者の皆さんは、 どんなことを 大切にされていますか？

駒場 お客さまに高速道路という移動手段を選択してご利用いただく以上、「何事もなく、そして安全に目的地に到着できる」というその「当たり前」を維持することです。社員全員がその「当たり前」を大切にしていこうと考えていますし、それを守るために確実に仕事を進めていきたいと思っています。

金山 私も駒場担当課長がおっしゃる、「当たり前」はとも大切にしたいキーワードだと思っています。

赤松 高速道路が多くの人々の生活を支えていることで社会は日々続いていくのだと思います。会社の事業はまさに社会活動に貢献していると思うので、この会社の社員としてお客さまの安全、安心を守りたいと思っています。この使命感を大切に、工事広報を担当しています。



3 会社創立20周年を迎えて 感じることを教えてください。

駒場 正直、あつという間の20年でした。ただ、1つの通過点であり、何かそう大きな節目を迎えたという感覚はないですね。また、7月1日に八王子支社と東京支社が統合し、どのようにうまくマネジメントしていくかを当事者として気にかけているところです。例えば、自然災害などで体制を組んだ時に、どれだけスムーズに動くことができるかがポイントになると思っています。あとはそれぞれ両支社の良いところが1つになることで、よりブラッシュアップできるのが楽しみです。

赤松 この20年で企業として大きな変化と進化を遂げたと感じます。民営化によって「お客さま第一」の意識が社員1人ひとりに浸透し、「安全とサービス向上のために何ができるか」を常に考えるようになったと思います。

金山 私は入社して10年目になりますが、あまり20周年の実感がないのが正直な感想です。諸先輩たちが築いてきた安全や、お客さま第一の部分は、入社した時には当たり前になっていましたので、それを若い世代に今後もつなげていけるように頑張っていきたいと、若手代表として感じています。

浜崎 私は、この20周年という節目に、工事広報コンシェルジュのバトンを受け取ったことが、すごく嬉しいです。これからも安全のために正確な情報を、ドライバーの皆さんにお伝えしていきたいです。やはり「信頼」が一番大切だと思うので、NEXCO中日本の皆さんと一緒に築き上げて、もっと磨き上げていけたら良いなと思っています。



4 これからの仕事の中で 大事にしていきたいことを 教えてください。

金山 「誠実さを持って頑張る」ことです。この「誠実」には、安全やお客さま第一などいろいろな意味が含まれ、それらに対して誠実に向き合っていかなければならないと思っています。

駒場 過去30年を振り返ったとき、入社した頃、まさか民営化するとは思ってもみなかったです。リニューアル工事しかり、そうした大規模な工事がおこなわれていくことになる認識がなかった中で、天災やインフラの老朽

化の進展など、大きな出来事が起こるとあつという間に環境・情勢が変わるということを経験しました。この先、今わかっていないことでも突然何かによって変わることとはあると思います。固定観念にとらわれずに、社会情勢の変化にきちんとついていく、あとは若手の柔軟な発想も取り入れながら、常に全身全霊で前に進んでいくことが非常に重要だと思っています。



赤松 「お客さまの安全と安心を支える」という思いを大切にしながら、お客さま目線で、一つ一つの仕事に丁寧かつスピーディーな対応を心がけていきたいです。

